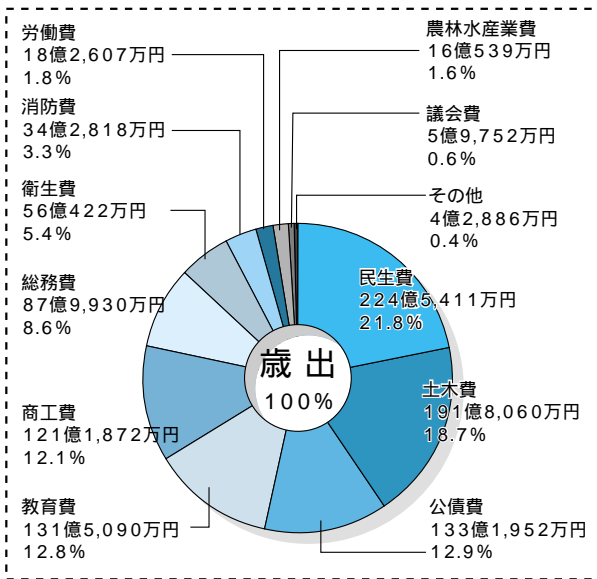


平成15年度予算と事業



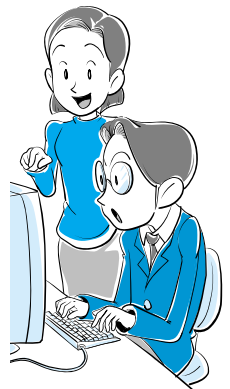
厳しい雇用環境に対応するため、昨年に引き続き就職支援のパソコン

労働費

生活環境ではゴミの減量・資源化を推進するとともに、県の補助を取り込んだ不法投棄防止パトロールを行います。また、最終処分場の焼却灰が飛散しないよう、焼却灰こん包設備を六供清掃工場 亀泉清掃工場に新設します。

衛生費

健康づくりでは、さわやか健診や各種がん検診を引き続き実施するほか、法定予防接種や高齢者インフルエンザなど、市民の皆さんの健康づくりを図ります。



講座を開催するとともに、市民就職相談室を新たに設置します。また、勤労者に対する生活資金や住宅建設資金の融資によって、勤労者の支援施策を進めるほか、仕事と育児の両立を支援するため、前年度設置したファミリー・サポート・センターの利用促進に努めます。

農林水産業費

荻窪地区開発整備を進めてきたため池造成工事については、十四年度、十五年度の二カ年事業であり、衛生費から移した事業です。経営構造対策事業では、農業基盤施設整備に対して補助。簡易ふん尿処理施設整備では、家畜排せつ物法に対応した施設整備に本年度も助成します。農業基盤整備では、農業用排水路の改修など、農村集落の生活環境整備を一層進めます。

商工費

わが国の厳しい経済環境の中で、市内中小企業の倒産を未然に防ぐことを目的に、中小企業診断士をアドバイザーとして、企業へ派遣する事業をスタートします。

商業振興策では、ホームページの作成や情報誌の発行など商店街情報化対策の補助限度額を引き上げることによって、魅力ある商店街づくりを支援。中心市街地活性化策では、空き店舗対策やTMO（中心市街地の

まちづくり機関）の支援を続けます。また、活力ある産業の振興を目指し、産学交流事業への新たな支援や、新製品の販路開拓に対する相談事業を始めるとともに、企業誘致にもさらなる取り組みを進めます。

農林水産業費の主な事業	
荻窪地区ため池造成工事 (14~15年度)	1億9,000万円
農業集団組織育成対策補助	1,793万円
経営体育成緊急対策事業補助	1,950万円
経営構造対策事業補助	1億7,856万円
簡易ふん尿処理施設整備補助	850万円
市単独農業土木	1億3,800万円
商工費の主な事業	
倒産防止アドバイザー派遣	50万円
商店街情報化対策事業補助	100万円
TMO運営事業補助	1,000万円
商店街空洞化対策事業補助	596万円
産学交流支援事業補助	20万円
新製品販路開拓相談	330万円
企業誘致等促進	2億8,167万円
産業振興支援施設整備事業	6,000万円
中小企業融資促進	112億4,300万円

衛生費の主な事業		は新規事業
衛生関係		
さわやか健診および各種がん検診など	8億8,655万円	
法定予防接種、高齢者インフルエンザなど	3億606万円	
看護教育センター施設整備費補助	2,000万円	
清掃関係		
合併処理浄化槽設置費補助	5,902万円	
ゴミ減量・資源化推進	2億415万円	
不法投棄防止対策	1,778万円	
焼却灰こん包設備設置工事	4,500万円	
労働費の主な事業		は新規事業
就職支援のためのパソコン講座開催		
市民就職相談室設置	112万円	
勤労者福祉貸付事業	13億9,822万円	
ファミリー・サポート・センター運営		
	938万円	